

(研究機関の名称：広島市立広島市民病院)

現在、当院内科で実施している研究へご協力をお願い

1. 研究課題名

IPMN 悪性予測モデルは市中病院での治療方針決定に有用か、経過観察症例を中心とした検討

2. 対象となる方

2001年1月～2020年10月に当院で膵管内乳頭粘液腫瘍（IPMN）が指摘された患者さん

3. 研究の目的

膵管内乳頭粘液腫瘍（IPMN）は数年かけてゆっくりと増大して悪性化、すなわち膵癌を発生することが知られている。IPMNは悪性化の徴候として膵管の拡張や壁在結節の出現などが報告されているが、適切な手術のタイミングはいまだ明確ではない。悪性化の徴候があったとしても経過観察可能な症例が報告されており、膵切除の手術の負担は大きい。特に持病のある方や高齢者では治療方針決定に難渋する。清水らの提唱するIPMN悪性予測モデルの有用性が報告されており、当院でIPMN悪性予測モデルが予後予測や治療法決定に有用か、経過観察症例を中心に検討します。

4. 研究期間

2021年2月（倫理審査委員会承認後）～2022年10月（予定）

5. 研究に使用する試料・情報の種類

診療情報等：診断名、年齢、性別、入院日、既往歴、術前治療などの検査データ、手術の治療歴、副作用等の発生状況 等

6. 研究組織

当院のみでの研究になります。

7. 研究責任者

広島市立広島市民病院内科 副部長 高田斎文

8. お問い合わせ先

この研究は、広島市立広島市民病院倫理審査委員会の承認を得て実施しています。
この研究に使用する情報は匿名化処理を行い、患者さんを特定できないようにしたうえ

で使用します。

また、患者さんを特定できないようにしたうえで、学会や論文で発表する予定です。

この研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。

また、情報をこの研究に使用されることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒730-8518 広島市中区基町7番33号

電話 (082) 221-2291 (代表)

広島市立広島市民病院内科 高田 斎文